

令和6年度進行管理・評価シート
鶴岡市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和5年3月29日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 整備方針策定事業	3
2 門前町歴史まちづくり活動支援事業	4
3 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	5
4 羽黒山スギ並木保全活用事業	6
5 協議会活動支援事業	7
6 シルクノチカラ未来創造事業	8
7 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	9
8 城下のまちつるおか推進事業	10
9 歴史まちづくり人材育成事業	11
10 鶴岡公園園内整備事業	12
11 蚕室群活用整備事業	13
12 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	14
13 民俗芸能保存伝承支援事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	16
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	17
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 鶴岡の風致維持向上計画の第2期 国の認定を受ける ほか	19
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	20
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	21
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、企画部政策企画課、商工観光部観光物産課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び産業建設課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会、鶴岡市都市計画審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市には鶴ヶ岡城下町地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区の3つの重点区域があり、各区域における施設整備や地域振興を所管する担当課、政策を包括する企画部、文化財事業を所管する教育委員会部局、観光事業を所管する商工観光部局が連携し、計画の進行管理と歴史まちづくりを通じた本市の魅力発信に努めている。会議等の開催は、令和7年2月6日に副市長を会長とし庁内関係部課長で構成する推進会議、同2月13日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、関係課担当者会議を実施し、計画の適正な執行と円滑な進行管理を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

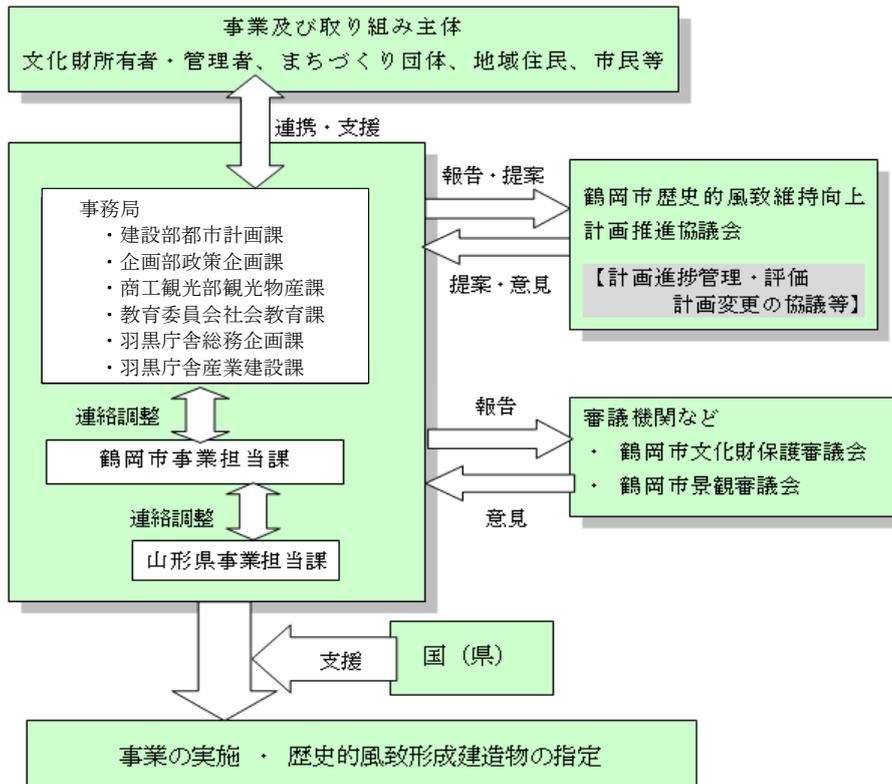
状況を示す写真や資料等

令和5年度庁内推進会議 (令和6年2月2日)
 ①令和5年度の事業報告・事業評価について
 ②計画の変更について

令和5年度第13回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会 (令和6年2月20日)
 ①令和5年度の事業報告・事業評価について
 ②計画の変更について

令和6年度庁内推進会議 (令和7年2月6日)
 ①令和6年度の事業報告・事業評価
 ②計画の変更について

令和6年度第14回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会 (令和7年2月13日)
 ①令和6年度の事業報告・事業評価について
 ②計画の変更について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
景観計画の活用		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ○景観計画地域別方針との適合
 ○大規模建築物等の景観に関する制限

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施していたが、再生可能エネルギーへのシフトとこれまで営まれてきた景観の保全と調和を図り、歴史的・文化的資源としての景観を今後も継承していくため、令和5年3月に「鶴岡市景観計画」を改訂した。改訂した計画では、基本方針や類型別・景観要素別の方針を見直したほか、大規模再生可能エネルギー発電施設・地域別の方針を定めている。また、行為の制限において、大規模建築物等の制限の見直し、歴史的風致維持向上計画の重点区域であり日本遺産にも認定された「羽黒地域手向地区」、「羽黒地域松ヶ岡地区」を追加した。

・令和5年度は、景観計画区域内(市全域)における大規模建築行為について市全域で15件の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和6年度における大規模建築物の届出

景観計画区域内における行為の届出

届出件数 16件(令和6年12月31日現在)

届出行為地域別内訳 鶴岡9件、藤島0件、羽黒7件、櫛引0件、朝日0件、温海0件 計16件

届出対象物内訳 建築物15件、工作物1件、両方0件 計16件

区域内における行為 大規模建築行為8件、美咲町シンボルロード地区1件、羽黒大鳥居周辺0件、羽黒地域手向地区7件、羽黒地域松ヶ岡地区0件 計16件

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
整備方針策定事業 【重点3地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度 ~ 令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上のため、歴史的風致維持向上計画(第1期)の取組成果と課題を評価検証し、歴史的風致維持向上計画(第2期)で位置付けた重点区域における整備方針・基本計画を策定する。
歴史的風致形成建造物の指定を見据え、重点区域に数多くある歴史的建造物の構造や意匠、平面図作成、歴史的価値を示す調査を行い、歴史的建造物の保存・活用を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画(第2期)は令和5年3月に認定を受けて以降も、少子高齢化の進行や歴史的建造物所有者の高齢化、空き家・空き地の増加などの社会情勢の変化も著しく、社会情勢は大きく変化している。令和5年度は歴史的建造物所有者や商工観光事業者、地域住民によるワークショップを開催し、歴史的風致の維持及び向上を図るための整備方針を策定、令和6年度は、歴史的建造物を保存及び活用していくための協議検討の土台として、重点区域周辺の歴史的に価値のある建造物の調査のほか、指定した建造物所有者のヒアリング等を実施した。また、歴史的風致形成建造物の指定を見通した物件調査を実施し、歴史的建造物の継承と保存・活用を図っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○歴史的建造物保存活用に係る調査研究業務

- ①重点区域(鶴ヶ岡城下町地区)における歴史的な価値があると想定される建造物の現地踏査
- ②歴史的建造物(三井家蔵座敷、割烹三浦屋、新茶屋)所有者へのヒアリング調査
- ②保存及び活用に係る調査研究業務 報告書作成 一式

歴史的建造物の現地踏査



○歴史的建造物物件等調査業務

- ①鶴岡天満宮 本殿 ②鶴岡天満宮 拝殿



物件等調査業務
鶴岡天満宮 本殿



物件等調査業務
鶴岡天満宮 拝殿

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街のまち並みを保全し風致を維持するため、道路に面する建物や土塀、生垣、植栽等の外構部分など宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について所有者等がまちづくり協定を策定した上で修景整備への支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し、令和6年度6件の修景整備が実施され、さらにまちなみの連続性が高まり、良好な景観が形成された。(平成29年度6件、平成30年度7件、令和元年度6件、令和2年度6件、令和3年度7件、令和4年度7件、令和5年度5件、令和6年度6件、8年間合計50件整備)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備

門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塀、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

○桜小路集落 2件(住宅・車庫2件)...屋根・外壁塗装、シャッター塗装・交換

○松原町集落 4件(住宅・店舗4件)...屋根・外壁塗装、窓格子取付・シャッター交換・塗装、板塀整備

修景整備事業1



修景整備事業2



修景整備事業3



修景整備事業4



2. 「手向まちなみ委員会」の開催

○期 日 令和6年7月10日(水)
8月9日(金)
11月7日(木)
令和7年3月24日(月)

○内 容 申請内容等の審査・検討

3. 「景観整備プレート」の作成・贈呈式

○作成枚数 51枚

○内容 プレートを整備物件へ取付し、まちなみ景観形成の取組を地区内外へ広く発信する。

○贈呈式 令和7年2月25日(火)



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
羽黒山スギ並木保全活用事業 【羽黒手向地区】			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	出羽三山神社・荒沢寺の祭礼行事に欠かすことのできない羽黒山スギ並木の歴史的景観を保全することを目的とし、国指定特別天然記念物「羽黒山のスギ並木」を含む、羽黒山参道及び歴史的景観の保全に向けた調査研究を行う団体へ支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域住民を対象に、出羽三山魅力発信協議会の講演会と共催し羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会の活動報告会を実施した。これまでの取り組み状況や課題、将来像について報告し、住民意識の醸成が図られた。 先進地視察調査を実施し、保全のための財源確保の手法及び管理運営する団体の組織体制や、関係者の意識醸成の回り方、まちづくり等を視察した。今後の取り組みの参考とし、方向性について認識が共有された。 また、協議会が連携協定を締結した北海道大学とのオンライン研究会などを通じて、調査結果への考察や知見の提供により、短期的・中長期的な今後の対策について共通認識が図られた。			
te		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
1. 活動報告会 <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和6年9月3日(火) 18:30～ ○場所 手向地区地域活動センター ○内容 協議会活動の報告、課題の周知 ○参加人数 約40人(関係者含む) ○その他 出羽三山魅力発信協議会講演会と共催 			
2. 先進地視察調査 <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和6年12月3日(火)～4日(水) ○視察先 公益財団法人 吉野山保勝会 一般社団法人 高野山宿坊協会 ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・財源確保の手法及び管理組織の運営体制を学ぶ ・歴史的資源を活用し地域固有の精神文化や風土を活かした生業づくり(まちづくり)を学ぶ ○参加者 協議会委員4名、事務局2名、北海道大学准教授1名  			
3. 北大とのオンライン研究会 <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和6年9月27日(金)13:30～ 令和7年1月31日(金)13:30～ 令和7年3月11日(火)15:30～ ○場所 羽黒庁舎(ハイブリット開催) ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・先進地調査の報告 ・先進地事例、知見の提供、意見交換 			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
協議会活動支援事業(松ヶ岡振興支援事業) 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、様々な催し等を実施。事業を通じて、広く歴史的資産の価値を共有し、松ヶ岡地域への関心が高まることにより、この地域の歴史や文化が維持・継承されることにつながる。
あわせて、日本遺産としての魅力をより一層高めることを目的として、蚕室群の活用や周辺環境の整備を行っている。
参考:1番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度2,400人→R元年度4,700人→R5年度4,337人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

令和4年3月に新たな団体「史跡松ヶ岡開墾場管理運営協議会」が設立。協議会の体制強化、地域住民から協力を得られる関係作りが課題。協議会の実施する事業等に対し支援を行っていく。

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○イベント

- ・桃市(8/3)開墾場敷地内にて松ヶ岡産桃の販売。来場者数2,500人。
- ・松ヶ岡クラフトフェス(9/28,29)開墾場敷地内にて県内外のクラフト作家によるクラフト作品販売。来場者数8,500人。
- ・松ヶ岡雪まつり(1/25)開墾場蚕室群ライトアップ、雪山遊びなど。来場者数400人。

○松ヶ岡茶再生プロジェクト

- ・除草作業、茶摘み、紅茶づくり、お茶会、冬囲いなど、茶畑の保全や紅茶の提供。



桃市



松ヶ岡クラフトフェス



松ヶ岡雪まつり



松ヶ岡茶再生プロジェクト

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
シルクノチカラ未来創造事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史・魅力を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業や文化、地域コミュニティなどの観点から絹産業を生かした取組を展開した。

○産業

- ・キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)
- ・産地高度化事業:他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルクの商品開発と松ヶ岡開墾場でのPR
- ・ブランド化事業:海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングやブランド構築
- ・販売促進事業:海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売

○文化

- ・蚕飼育体験:市内幼・保育園、小・中学校、高校等における蚕飼育体験(46施設、6個人・計100キット)、3番蚕室での蚕展示飼育
- ・シルクで頑張る若者応援プロジェクト:シルクに関わる若者の創造性と活動を伸ばすため、市内高校生がシルクをテーマとして取り組む探究活動や普及啓発事業へ支援。鶴岡中央高校では、被服を学ぶ生徒がシルクドレスの製作とファッションショーを実施。

○地域コミュニティ

- ・養蚕環境整備事業・・・地域コミュニティの活性化と生きがい作りのため、閉校舎を活用した養蚕を実施。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

シルクの取り組みは事業開始から15年目を迎えた。幼保育園で蚕飼育を体験した高校生がシルクの探究活動に取り組むなど、シルクを活用した新たな地域振興が図られている。

状況を示す写真や資料等



kibiso shop
(松ヶ岡開墾場4番蚕室内)



保育園での蚕飼育体験



高校生による探究活動
(AIを活用した蚕の認識装置)



高校生による探究活動
(シルクガールズプロジェクトin松ヶ岡)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和14年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容	鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

酒井家庄内入部400年記念事業は令和5年度を持って終了したが、記念事業の成果を活かし、次の100年を見据えた伝統と創造のまちづくりのため、民間事業者が主体となり事業を実施している。

- ・企画展「国宝展示 大名酒井家の名宝」記念講演会
 講師:金子 拓 氏(東京大学史料編纂所教授)
 演題:「織田信長と酒井忠次」
 日時:2024年6月1日(土)14:00～16:00
 会場:鶴岡市中央公民館
 参加人数:125名
- ・企画展「ワッパ騒動150年特別展 ワッパ騒動 自由民権運動の先駆け」講演会
 ①講師:山口 励 氏(山形県地域史研究協議会副会長)、升川 繁敏 氏(ワッパ騒動義民顕彰会事務局長)
 演題:「ワッパ騒動とは何か？」
 日時:2024年12月8日(日)13:30～16:00
 会場:鶴岡市立図書館2階講座室
 参加人数:71名
 ②講師:門松 秀樹 氏(東北公益文科大学教授)
 演題:「松平親懐と菅実秀からみたワッパ騒動」
 日時:2024年12月22日(日)14:00～16:00
 会場:致道博物館(旧警察ホール)
 参加人数:48名
- ・出羽三山魅力発信講演会【4ページ再掲】
 ※羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会と共催
 日時:令和6年9月3日(火)18時30分～
 講師:天田顕徳氏(北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授)
 内容:講演「なぜ スギ並木を守るのか」-持続可能なまちづくりを考える-
 参加人数:約40人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



企画展「国宝展示 大名酒井家の名宝」記念講演会



企画展「国宝展示 大名酒井家の名宝」記念講演会
「ワッパ騒動とは何か？」



出羽三山魅力発信講演会【再掲】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
<p>城下のまちつるおか推進事業 【鶴ヶ岡城下町地区、羽黒松ヶ岡地区】</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、地方創生推進交付金、市単独事業		
計画に記載している内容	松ヶ岡開墾150年、酒井家庄内入部400年を契機として、上質な街並みや景観などの空間整備、歴史的建造物の保存活用を関係団体等と連携して検討、整備する。また、これらを資源とする戦略的な観光誘客などを展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>酒井家庄内入部400年の節目を契機とし、シビックプライド・郷土愛の醸成と地域固有の歴史文化を生かした交流拡大を図り、令和3年・4年と2か年で実施した記念事業を継承し、令和5年度は、過去2年間の成果を将来につなげるため「NEXT100事業」を展開した。</p> <p>〈参考〉 R3: 歴史講演会、歴史講座、親子記者プロジェクト 等 R4: 記念式典、ミュージアムスタンプラリー、高校生学芸員体験 等 R5: 高校生学芸員体験、庄内地域ミュージアムスタンプラリー、NHK相互協力事業 等</p> <p>酒井家庄内入部400年記念事業は令和5年度を持って終了したが、民間事業者を中心に、過去の成果を活かしながら観光誘客に資する事業を実施した。また、市指定史跡の新たな活用方法について、検討を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・致道館高校1年ダイバーシティウィーク 内 容: 文化財資料取り扱いを含めた学芸員の仕事体験 日 時: ①7月30日(火)～8月1日(木)各日9:00～11:00、②8月6日(火)～8日(木)各日9:00～11:00 参加人数: ①延べ14人、②延べ15人 ・重要文化財 旧西田川郡役所 常設展示リニューアルオープン(2024年4月) 令和元年の山形県沖地震により被災し修理工事を行った後も休館していた施設を、観光誘客につながる所蔵品(致道ミニチュアコレクション)等を主体にリニューアルした。 ・企画展開催にあわせ「刀剣乱舞ONLINE」コラボイベントを実施 内 容: 旧西田川郡役所リニューアルオープンセレモニー(テープカット)、撮影会イベント等 日 時: 2024年4月27日(土) 会 場: ①致道博物館旧西田川郡役所前(テープカット)、②致道博物館内各所、荘内神社、大督寺(撮影会イベント) 参加人数: 延べ365人(①65人、②博物館130人、荘内神社90人、大督寺80人) ・第1回安倍家住宅利活用検討会 安倍家住宅は、鶴岡の最後の武士住宅として、藩政時代の100石取級の武士の住宅の状況を極めてよく伝えている。この安倍家住宅の保存と利活用に向けて、文化財保存、地域・観光面で委員を選定し、活用等について意見を聴取するため、令和6年12月に第1回検討会を開催。 令和7・8年度の2ヶ年で修理・整備し、学童施設や地域と連携した活用、城下町つるおかの新たな観光拠点としての活用を図る。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>「刀剣乱舞ONLINE」コラボイベントを実施</p>		<p>旧西田川郡役所リニューアル展示</p>	
			
<p>第1回安倍家住宅利活用検討会</p>			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり人材育成事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和14年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【鶴ヶ岡城下町地区】
・観光ボランティアガイド…鶴岡市観光ガイド協議会のボランティアガイドが市街地周辺の文化施設等を案内。同協議会では月1回会員の情報共有や研修のための例会を実施。(令和6年度実績:回数127回、人数2,744人)
【羽黒松ヶ岡地区】
・日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)…松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」を紹介(令和6年度来館者数6,095人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【鶴岡公園とその周辺地区】



観光ボランティアガイド
(みゆき橋付近)



観光ボランティアガイド
(大山街道口木戸口跡)

【羽黒松ヶ岡地区】



日本遺産インフォメーションセンター
(新徴屋敷)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園園内整備事業 【鶴ヶ岡城下町地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ~ 令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鶴ヶ岡城跡から出土した石を活用し公園内に本市の歴史を伝えるモニュメントとして整備した区画の公開記念セレモニーと説明会を開催した。

4月16日(火) 鶴ヶ岡城跡馬出遺構出土石展示公開セレモニー 来賓 5名
同日 鶴ヶ岡城跡馬出遺構説明会 実施 参加者 26名(午前14名、午後12名)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<セレモニーの様子>



<鶴ヶ岡城跡馬出遺構説明会の様子>



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・古民家等観光資源化支援事業

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に史跡の確実な保存・伝承のために市が取得した。平成30年度に当史跡の本質的価値と構成要素を明らかにしながら、保存管理と活用整備の方針とする「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定。本計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。

令和4年度に5つ現存する蚕室のうち、4番蚕室を絹産業の伝統と文化を発信する体験施設「シルクミライ館」としてオープンした。

令和6年度は、松ヶ岡で行われた「養蚕」の歴史を伝える蚕の展示飼育、同地を端緒とするシルクにまつわる「シルクガールズコレクション」を展開し、音楽祭やトークイベントなど蚕室を活用したイベントなどと合わせて、当地の歴史的価値・文化的価値を確認する機会を創出した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	4番蚕室「シルクミライ館」や5番蚕室を活用したにぎわい創出が図られている。 新たな観光拠点として、関係部局・地元が連携した周知や誘客の強化が必要。

状況を示す写真や資料等



松ヶ岡開墾場保存活用計画(平成31年3月)



3番蚕室での蚕の展示飼育(6月)



4番蚕室「シルクミライ館」開館(令和4年4月)



4番蚕室でのデザイナートーク(6月)



5番蚕室での「松ヶ岡音楽祭」



5番蚕室でのシルクガールズ



5番蚕室の構造解説チラシ

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～令和14年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>明治初期に松ヶ岡開墾場で蚕室群と合わせて建造された、養蚕のための桑葉を保管した「貯桑土蔵」1棟を保存修理する。</p> <p>老朽化により建物全体にゆがみや雨漏りが生じていることから、令和2年度に現状図の作成、令和3年度に基本設計、令和4年度に痕跡調査を行い、令和5年度には、当該土蔵の当初部材を保持・再利用するため、躯体をジャッキアップしながら部材を補修している「半解体工事」により施工することとして、半解体にかかる実施設計を行った。</p> <p>令和6年度は半解体工事を行い、部材や遺構の調査を行った。</p> <p>令和7・8年度2ヶ年で復原整備工事を実施し、令和9年度にはこのたびの工事概要の解説を含む展示製作を行いながら、体験施設等として活用開始する予定。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各建造物は約150年が経過していることで、老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要。それぞれの現状を確認しながら、適切に保存修理を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
		貯桑土蔵(南面)からは建物の歪みが視認できる	
		内設された候補材・意匠の解体状況調査を行った上、令和7年度・8年度に保存修理する	
		建設当初の窓などの開口痕が露出	
		大正期以降の施工と考えられるコンクリート床の下部に玉石・栗石を確認	

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(財)地域創造助成事業

計画に記載している内容

- ・無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。
- ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。
- ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。
- ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・保存継承活動のための補助金として、6団体(藤島伝統芸能振興協会、高寺八講保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会)に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付した。

・(一財)丸高歴史文化財団は(株)丸高が地域文化の向上発展に寄与するため設立された財団で、伝統工芸の継承や伝統芸能の保存に尽力している団体等に資金援助している。これについて市内の無形民俗文化財保存団体に周知を図った。(採択件数:令和元年度3件、令和2年度2件、令和3年度1件、令和4年度1件、令和5年度1件、令和6年度0件(1件申請したが不採択))

・明治安田クオリティオブライフ文化財団の「地域の地域の伝統文化保存維持費用助成」に本市が推薦していた山五十川古典芸能保存会が採択された。

・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能の保存継承活動を知るうえで貴重な機会になっている。(一般財団法人地域創造「地域伝統芸能等保存事業(地方フェスティバル助成事業)」を活用。)(令和7年2月16日 観覧者数 約400人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



市が保存継承活動を支援する「古郡神楽」



(公財)明治安田生命クオリティオブライフ文化財団 助成金贈呈式(7月5日) 山五十川古典芸能保存会



令和6年度 鶴岡市民俗芸能交流発表会 (令和7年2月16日開催 会場 荘銀タクト鶴)

評価軸④-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じて調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で

- ・埋蔵文化財等文化財調査を行った。
 現地踏査実施箇所 5ヶ所 市内三瀬矢引地内、羽黒町川代地内 櫛引地域桃平地内等
 立会調査実施箇所 7ヶ所 「鶴ヶ岡城跡」「尾浦城跡」「山田遺跡」等
 試掘・確認調査実施箇所 4ヶ所 「高田A・B遺跡・田川館跡」「藤島城跡」「鳥居上遺跡」「国史跡松ヶ岡開墾場」
 埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和6年1月9日現在) 公共事業 6件、民間事業192件 合計192件
- ・文化財保護審議会を開催した。(令和7年2月12日(水))
- ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、同史跡の保存活用計画の推進のため、有識者から成る監理委員会を2回開催(令和6年6月24日、12月20日)し、史跡内建造物の保存修理等に指導助言を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和6年5月16日
藤島城跡試掘調査風景



令和6年11月13日
史跡松ヶ岡開墾場貯桑土蔵確認調査風景

評価軸④-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
文化財の修理、周辺環境の整備		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
- ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
- ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
- ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
- ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業
- ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
- ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
- ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・指定文化財の所有者が実施した保存修理事業に対して、市は補助金を交付して支援を行った。
- ① 国宝羽黒山五重塔及び重要文化財羽黒山鐘楼保存修理事業：宗教法人月山神社・出羽神社・湯殿山神社
- ・史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業について、令和6年度は貯桑土蔵半解体工事や貯桑土蔵保存修理工事実施設計を実施した。
- ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行った。(国・県・市指定文化財 計10箇所)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ着実に保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

○国宝羽黒山五重塔及び重要文化財羽黒山鐘楼保存修理事業



羽黒山五重塔の葺き替え完了(国宝羽黒山五重塔)



柿葺きの屋根の葺き替え(国宝羽黒山五重塔)

○史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業



貯桑土蔵半解体工事(史跡松ヶ岡開墾場)

○文化財防火デー(R6年度未実施)



令和7年1月27日 致道博物館
 (旧渋谷家住宅、旧西田川郡役所、旧鶴岡警察署庁舎など)

評価軸④-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。
- ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。
- ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和4～6年度にかけて行われている「羽黒山五重塔及び羽黒山鐘楼保存修理工事」に係り、五重塔の屋根葺き替え現場の見学会を実施した。(令和6年7月27日 参加者 34名)
- ・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として、小学生向けに「つるおか文化財めぐり」を開催した。(令和6年9月28日 参加者親子6組 19名)
- ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出した。(令和7年2月16日 観覧者数約400人)
- ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。
- ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行った。(国・県・市指定文化財 計10箇所)
- ・有形文化財所有者や無形民俗文化財保持団体等に対し、民間団体の助成を周知し、申請希望者への支援を行った。
- ・鶴ヶ岡城跡から出土した石を活用し公園内に本市の歴史を伝えるモニュメントとして整備した区画の公開記念セレモニーと説明会を開催した。(令和6年4月16日 セレモニー 来賓5名、説明会 26名参加)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「つるおか文化財めぐり」(令和6年9月28日)
(常念寺、丸岡城跡史跡公園、本住寺)



鶴ヶ岡城跡馬出遺構出土石活用整備
(鶴岡公園東側の一区画を整備)



国宝「羽黒山五重塔」保存修理見学会



文化財防火デー消防訓練
(令和7年1月26日 重要文化財 水上八幡神社本殿)

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	評価対象年度 年月日	令和6年度 掲載紙等
致道博物館 シンボルの大時計 再び時刻む	令和6年4月6日	荘内日報
「馬出」遺構展示へ 鶴ヶ岡城大手門前から出土 鶴岡公園16日現地説明会	令和6年4月9日	荘内日報
鶴岡の新デザイン3種「歴まちカード」13日、市内で無料配布	令和6年4月10日	山形新聞
鶴岡の歴史的景観を紹介「歴まちカード」新たに3種製作・配布	令和6年4月17日	荘内日報
馬出遺構の出土石 鶴岡公園内に展示 記念セレモニー	令和6年4月18日	山形新聞
プロジェクトマップ鮮やかに 鶴岡・致道博物館 重文「旧西田川郡役所」特別内覧	令和6年4月21日	荘内日報
「馬出」憩いの場に 鶴ヶ岡城跡の鶴岡公園 遺構の金峯石でモニュメント	令和6年4月23日	朝日新聞
旧西田川郡役所 再公開お待たせ 鶴岡・27日から CFに1572万円の善意集まる	令和6年4月25日	山形新聞
鶴岡天神祭 街に「化けもの」繰り出す 無言の振る舞いが復活	令和6年5月15日	鶴岡タイムス
鶴岡天神祭、1900人でパレード ブルーインパルスの舞技飛行も	令和6年5月17日	コミュニティしんぶん
「自学自習」の気風 致道館に学ぶ 致道館中1年生	令和6年5月18日	荘内日報
伝統受け継ぐ「少年少女古典素読教室」	令和6年5月21日	荘内日報
大絵馬奉納 天神祭始まる 鶴岡天満宮「化けもの」5年ぶりに酒振る舞う	令和6年5月25日	荘内日報
羽黒山の歴史的建造物に学ぶ 改修現場で解説 国宝・五重塔の構造や特徴	令和6年6月19日	荘内日報
鶴岡・出羽三山神社「花まつり」花飾り求め 手、手、手	令和6年7月17日	山形新聞
「羽前絹練」7件文化財 鶴岡・織物加工 県内登録215件に	令和6年7月20日	山形新聞
羽前絹練 工場など7棟 登録有形文化財に答申	令和6年7月21日	荘内日報
羽前絹練が国登録文化財に 大正～昭和初期の建物7棟	令和6年8月2日	コミュニティしんぶん
絹産業の一翼担う現役施設 羽前絹練の工場など7件 国登録文化財に認定へ	令和6年8月15日	鶴岡タイムス
己を見つめる 鶴岡・出羽三山神社「秋の峰入り」始まる	令和6年8月27日	山形新聞
全国から114人荒行に挑む 出羽三山神社 山伏修行「秋の峰」始まる	令和6年8月28日	荘内日報
炎に願う 豊作や平穏 鶴岡・出羽三山神社八朔祭	令和6年9月1日	山形新聞
庄内論語素読検定に挑戦 夏休みの成果 小学生披露	令和6年9月3日	荘内日報
鶴岡・羽黒山五重塔 屋根ふき替え完了 赤み映えより荘厳 吉野杉・板13万枚 光る職人の技	令和6年9月27日	山形新聞
国宝・羽黒山五重塔の屋根のふき替え完了 22年ぶり	令和6年10月6日	朝日新聞
参勤交代 壮大に 鶴岡伝統の「荘内大祭」	令和6年10月7日	山形新聞
古式ゆかしい大名行列披露 荘内大祭	令和6年10月8日	荘内日報
シルク使用衣装 色鮮やか 鶴岡中央高生 蚕室でショー	令和6年10月16日	山形新聞
大蚕室にランウェイ シルクガールズファッションショー	令和6年10月17日	荘内日報
手向地区 世界100選に 山岳信仰1400年の伝統など評価 国認証団体の「持続可能な観光地」	令和6年10月23日	山形新聞
「商売繁盛」「合格」願う 七日町観音堂 だるま祭り	令和6年12月18日	荘内日報
鶴岡の民俗芸能をつなぐ 7団体が交流発表会 2月16日	令和7年1月31日	鶴岡タイムス
地域で伝承する芸能披露 鶴岡市民俗芸能交流発表会 7団体90人ステージ飾る	令和7年2月20日	荘内日報
地域に伝わる舞 披露 鶴岡・民俗芸能交流発表会	令和7年2月21日	山形新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>本市の各重点区域における歴史的風致に関して広く報道・情報発信されている。 歴史的建造物や伝統文化・祭礼のほか、新たな歴まち計画に位置付けた取り組みに関する報道も行われており、本市の歴史的風致・伝統文化・歴史まちづくりに対する関心が喚起され、広く周知されていると考えられる。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和6年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数は、計画認定を受けた平成25年(2013)は2,760人であったが、歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の推進や3つの日本遺産の認定などもあり、令和元年(2019)は13,047人と平成25年(2013)と比較して約4.7倍の増加となった。令和2年(2020)以降はコロナ禍の影響で大きく減少に転じたが、令和5年(2023)は増加の傾向がみられる。※平成29年(2017年)の数値は、前後の年度の実績と大きな乖離があるが、具体的な要因は観光庁でも不明。

【羽黒手向地区】

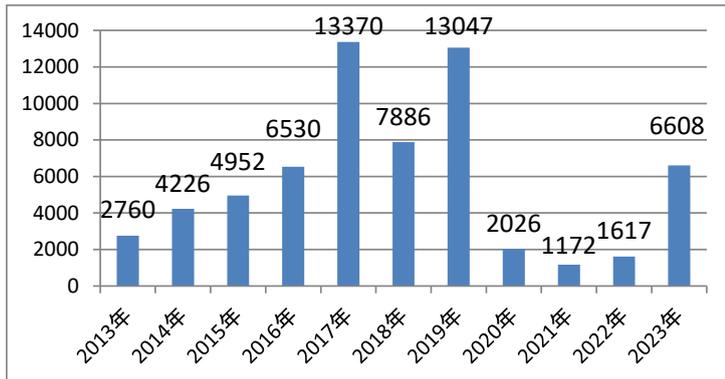
宿坊街の沿道空間は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素であり、統一感のある修景整備を行うことで良好な景観形成を行っている。平成29年度から修景整備に取り組み、令和6年度まで50件の整備が行われた。道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構、宿坊街の佇まいを感じる特徴的な建造物の修景整備により、地域住民はもとより、手向地区に訪れる国内外の観光客等にも、平成28年度に日本遺産に認定された出羽三山の構成要素でもある手向地区宿坊街の歴史的風致が体感できる空間を構成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移(人泊)
※観光庁「宿泊旅行調査」より

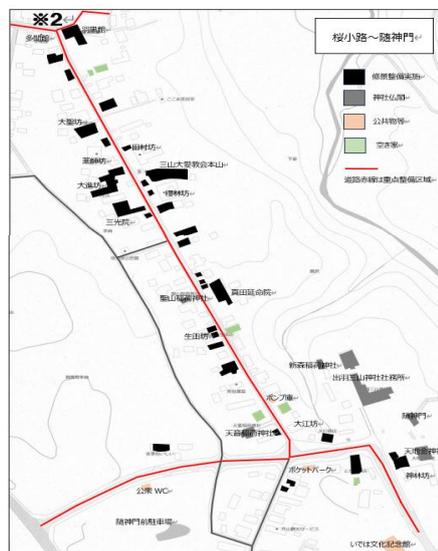
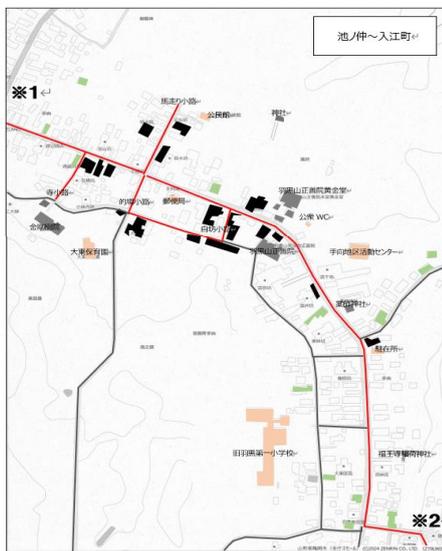
○鶴岡市における外国人宿泊者数
2020年: 2,026人
→2023年: 6,608人(3.26倍の増)
※現在の状況(2024年1月~10月)
: 12,344人(速報値)



【羽黒手向地区】

宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業

・事業実績 50件



平成29年度: 6件
平成30年度: 7件
令和元年度: 6件
令和2年度: 6件
令和3年度: 7件
令和4年度: 7件
令和5年度: 5件
令和6年度: 6件

- 修景整備実施
- 神社仏閣
- 公共物等
- 空き家
- 道路赤線は重点整備区

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 令和6年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と本市の歴史・まちづくり、歴史的風致維持向上計画説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

・令和6年10月27日 景観探険まち歩き 城下町の小路と歴史的建造物等を巡ろう(山形県と共催)
講師:熊坂俊英氏(山形県景観地域づくりアドバイザー)
対象者:一般募集 34名

・令和6年11月7日～8日 令和6年度 第51回歴史的景観都市協議会 参加
対象者:風趣ある歴史的、伝統的な市街地景観の保全を図っている市町村47都市
会場:宮城県多賀城市

令和6年度は、他自治体・団体等からの視察依頼など、対応はなかった。

一方で、本市の歴史まちづくりや景観形成に関する取組み、国や県、全国の歴史まちづくり・景観の取組みを行っている市町村を対象として、情報発信することができた。
また、山形県と共催し、一般市民等を対象とした景観まち歩きを実施し、普及啓発が図られた。

評価対象年度	令和6年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和7年2月13日(木)13:30	
(コメントの概要)	
<p>【会議結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業についての評価・報告、鶴岡市歴史的風致維持向上計画の変更についての承認 <p>【主なコメント】</p> <p>◆全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 手向地区が2024年世界の持続可能な観光地TOP100選に選出され、町並みも綺麗になり、今後はこれをどう活用してどのように皆さんの動線の中でお話していくか、検討が必要だと思う。 <p>◆個別事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 安倍家住宅は鶴岡の最後の武士住宅と言われており、その他には武士住宅がほとんど残っていない。安倍家は建物内もだいが改造しており復元はなかなか容易でないと思うが、ぜひ復元してほしい。 景観探険まちあるきについて。鶴岡にはたくさんの小路があったが、狭いことからかなりの小路が拡幅された。小路は、歴史的な景観という点では大切にしなければならない。案内板を作るなど、小路というものに脚光を浴びさせる必要もあるのではないかと思う。 文化財の指定の仕方と歴史的風致形成建造物の指定基準は違うため、随神門は市指定文化財には指定されていない。実際は随神門がすべての基準になり結界になるわけなので、歴史的風致として大変重要である。今後活用する中で、歴史的なものを入れて、これは重要だと皆さんに価値を認めて、知ってほしい。 <p>◆効果測定</p> <ul style="list-style-type: none"> 手向地区の町並み修景がひとつの節目を迎えているが、どこかで効果の検証が必要だと思う。統一感が出てきたなどと思う反面、例えば建物についても4種類ぐらいの別々の要素が混じっていると、或いは風土的な要素と宗教的な要素が混ざっていると、いろんな要素が併置されているところに特徴がある手向の町並みと今回の集計がどうマッチングをしているか、どういう効果を及ぼしているのか、そういう検証をしてはどうかと思った。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> 羽黒手向地区の振興について、持続可能なまちづくり、歴史的資源を活用した観光の視点も踏まえた取組や方策を検討していきたい。 市内に多くある小路の歴史的価値も含め、歴史的資源、文化的資源を活用した景観まち歩きなど、啓発事業等を引き続き実施に向けて検討したい。 歴史的建造物に関しては、歴史的価値や意匠・構造などを随時調査していきたいと考えるし、所有者の理解を得ながら、歴史的風致形成建造物の指定も見据えた対応を検討していきたい。 	